

## 2020 年度 高校卒業式「卒業生答辞」 2021 年 3 月 1 日

日差しが日々やわらかくなり、桜の蕾も色付き始め、命が躍動する春の訪れを感じる季節となりました。本日、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による緊急事態宣言下にも関わらず、志村理事長、高橋校長をはじめ先生方、職員の皆様、並びに保護者の皆様にご臨席を賜り、卒業式典を挙げていただきましたことに心から御礼を申し上げます。また、晴れやかに卒業式典を迎えることができましたのも、先生方の熱意あるご指導、ご鞭撻の賜物です。卒業生を代表いたしまして心から感謝申し上げます。加えて、只今、理事長、学校長、PTA 会長土田様より暖かい訓示と激励のお言葉を賜りましたことを重ねて感謝申し上げます。逗子開成での生活を振り返ると、私の中ではやはり生徒会活動が印象的です。生徒会活動は様々な人と連携しつつ活動を進める必要がありました。私が初めて学校全体に関わるプロジェクトに参加したのは学校指定セーターの制作です。当時の生徒会長が中心となり、時には制服会社の方も交えつつ見本品の比較検討を重ね、現在販売されているセーターの完成に至りました。また、高校の二年間は生徒会長とともに業務のマニュアル化、効率化を進めました。その際、共通書式の導入やメール提出など、生徒会組織の内外を問わず多くの方からご提案をいただきました。加えて、行事の終了後には様々な方から講評をいただくことで第三者による検証を行いました。誰しも、自分の視点から業務を見てしまうものですが、第三者から検証してもらうことは意義があると痛感しました。

その他にも思い出されることはたくさんありますが、総じて言えることは、常に支えてくれた友人と応援してくれた先生の存在です。一緒に物事を進めた友人。毎日のように顔を合わせた頼りになる仲間。大事な時には必ず助けてくれ、精神的支柱であり、目指す姿の一つでもある知己朋友。困った時に相談に乗ってくれたり、適切なアドバイスをしてくれた先生たち。今、この場からは皆さんの顔がよく見えますが、ひとりひとりとの思い出が走馬灯のように去来し、懐かしさに思わず涙してしまいそうです。あまり言葉にしたことはありませんでしたが、仲間や先生の支えなしには今の私はないものであり、なんと伝えたら良いかわからないほど感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、今日、5G の商用利用が始まるなど情報通信技術が一層の発展と高度化を遂げ、世界中でだれもが多様な知識、情報を瞬時のうちに入手し、発信し、交換することが可能となり、様々な知識や情報がだれにとっても身近なものになっています。同時に、社会にとっても新規産業の創出や既存産業の効率化など産業の発展をもたらす重要な契機となっています。しかし、一方で匿名でのデマの拡散、フェイクニュースなど課題は山積しています。現下の状況において本質を見抜くために必要になるのは、先程申し上げた他者との連携、協働と第三者による検証です。これは、あらゆる問題解決において同様です。本校での海洋教育やクラブ活動、生徒会活動など、諸般の活動はこのための習練であったと、卒業にあたってしみじみと思います。この情報化社会に参画する私たちは、この学校で培った連携と検証を忘れることなく、各々が志した分野において、「知、空よりも高く、心、海よりも深く、志、雲よりも高く」を胸に開物成務の気概をもって未来の海に船を出す所存です。

最後になりましたが、保護者の皆様。日頃から暖かく見守っていただきありがとうございました。それでは、心からの感謝とともに、逗子開成のさらなる発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

卒業生代表 T. Y